

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門科目	210	2年	前期	看護学科	必修	成人看護対象論 Adult Health Nursing	15	1
担当教員								
中西 純子	松井 美由紀							
関連するDPキーワード（看護学科）								
<input type="radio"/>	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
<input type="radio"/>	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
成人期にある人の身体的、心理的、社会的特徴と健康問題の特徴・動向、健康段階別の特徴、基本的なアプローチ論、倫理的課題について、統計的データや基礎理論、授業内で課題提示する学生自身による調査データから知識を身に付ける。 また、対象理解にとどまらず、"だからどう看護するか"につながる思考を身に付ける。								
到達目標（授業目標）								
①成人期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。								
②成人期にある人の健康問題についてその背景・原因と生活への影響について説明できる。								
③成人看護学の基盤となる諸概念・理論を知る。								
回 授業計画（項目・内容与方法・担当者）								
1回	成人期の概念：ライフサイクルと成人期の区分、成人期にある人を理解するための基本的な視点について講義する。 インタビュー課題を提示する。（中西・松井）							
2回	成人各期の特徴：各自のインタビューデータ（課題）を全体で共有し、そこから成人期の特徴を抽出する。その結果を公表されている統計データ等に見る成人各期の特徴と比較する。（中西）							
3回	成人各期の健康問題：国民衛生の動向で示されるデータから、成人各期における健康障害の特徴と動向について講義する。（中西）							
4回	健康段階別の対象理解と看護展開の総論：健康状態の変化を捉える視点、健康段階別の対象者のニーズと求められる看護、健康障害や治療が人間の基本的欲求の充足状態にもたらす影響について講義し、看護実践への展開を考える。（中西・松井）							
5回	急性状態にある人の理解：急性状態にある人の生体の反応を理解する理論（ストレス理論、生体侵襲理論）、急性状態にある人の心理的反応を理解する理論（危機理論、コーピング理論）について講義し、看護実践への展開を考える。（松井）							
6回	中途障がいを負った人、慢性疾患とともに生きる成人の特徴の理解：障がいを残す人の回復過程（障がい受容過程）、慢性疾患とともに生きる人の課題と特徴（病みの軌跡等）、成人学習者の特徴について講義し、看護実践への展開を考える。（中西）							

7回	自己管理／行動変容を支援するアプローチの理解：行動変容を支援する理論（アドヒアランス、自己効力感、エンパワーメント等）について講義し、看護実践への展開を考える。（中西）									
8回	成人看護における倫理的課題・まとめ：成人期の看護で遭遇する倫理的課題（脳死・臓器移植、終末期医療、救急医療、臨床試験等）について講義し、倫理的原則に従って考える。（中西）									
9回										
10回										
11回										
12回										
13回										
14回										
15回										
16回										
17回										
18回										
19回										
20回										
21回										
22回										
23回										
24回										
25回										
26回										
27回										
28回										
29回										
30回										
成績評価方法及び基準										
授業中(インタビュー課題30%)及び最終(70%)に課すレポートの合計で評価する。トータル60点以上を合格とする。										
教科書	大西和子ほか「成人看護学概論 第3版(2022)」(ヌーヴェルヒロカワ)									
参考図書等	「国民衛生の動向(最新版)」(厚生労働統計協会)									
授業時間外の学習について(授業準備のための指示)										
第2回は事前課題のインタビュー結果をレポートにまとめて提出する。 第3回-7回は各授業後にテキストの該当ページを復習すること。										
関連科目										
前科目	201	看護学概論	208	基礎看護学実習Ⅰ						
後科目	214	成人看護学急性期実習	215	成人看護学慢性期実習	213	終末期・緩和ケア方 法論	214	成人看護学急性期実習	215	成人看護学慢性期実習
実務家教員										
看護師(医療機関)	中西 純子		松井 美由紀							
備考										